



もうすぐ夏休み

あと少しで夏休みです。大人になってしまった我々も子供の頃を思い返すと、夏休み前のこの時期なんとも言えない高揚感を感じていた記憶がよみがえってきます。40日近くの夏休みをどのように過ごすか考えただけでわくわくするものです。

ただ、今年もコロナウイルス感染症の影響で昨年に引き続き制約の多い夏になるとは思います。それでも子供たちにとっては、学校に通っている時に比べ自分の裁量で使える時間がかなりたくさんあります。ご家族で時間を有効に使って良い夏休みを過ごしてください。

1年延期された東京オリンピックは、1都3県の首都圏会場は全て無観客での開催となりました。テレビでは放映されますので、家でオリンピック観戦の時間は増えそうです。アスリートにとっては、4年に一度の真剣勝負の場です。観客がいてもいなくても数々のドラマが見られることでしょう。

避難訓練 今年度初めて全校が集合

6月22日に避難訓練を行いました。子供たちは担任の誘導のもと、口を閉じて整然とグラウンドに集合してきました。消防署員の方から、850人を超える大規模校の避難の様子としては大変素晴らしかったとの高評をいただきました。



いざというときに生かされるためには、一人一人の子供たちが自分事として訓練に取り組むことが必要です。今後は、休み時間の訓練なども取り入れてみたいと思います。

避難訓練は内ばきのままグラウンドに出るので、校舎内に入るときは靴底を拭いてから入ります。雑巾を並べたり入口の土を掃きとったりするのは「きれ☆ピカ委員会」の高学年児童です。表に出ない影の仕事を頑張れる子供たちのことをいつも誇りに思っています。

授業風景

2年生がGW明けに植えた野菜が実を付ける時期になり、生活科の授業で食育とタイアップした取組を行いました。写真は、2年1組児童が担任の飯田教諭と野菜の変化について生活科の視点から考えた後で、栄養教諭の横山教諭と野菜が持つ様々なパワーについて学んでいる様子です。



教科や領域の枠を超えてカリキュラムをマネジメントすることは、労力は必要ですが時代の要請でもあります。さらに踏み込んで一人一人の子供たちにあったカリキュラムであるかどうかとも問われる時代です。

各自が育てている自分の野菜について成長過程を見る、そしてその野菜が持つパワーを知り、同時に他の野菜についての理解を広げていくという今回の活動は、一人一人の児童にあわせるという意味のアダプティブラーニングでした。創造性豊かに挑戦してくれた木田小の先生たちと子供たちに感謝です。

4年生 福祉学習(車椅子体験)

毎回取りあげてきた4年生の福祉学習ですが、今回は車椅子体験を行いました。車椅子に乗る体験、後ろで押す体験の両方を経験しました。また、今回はタブレットを利用してその様子を撮影し、終了後に写真やビデオを見てふりかえりを行っていました。

4年生の子供たちにとって普段は玄関の段差は何でもない段差です。しかしこの日車椅子を押してみるとなかなか簡単には乗り越えられない段差だと気づいていました。また、乗っている方も結構ハラハラドキドキの体験でした。



ゲストティーチャー

学校には様々な形でゲストティーチャーを招いています。コロナウイルス感染症の影響でしばらく外部講師を招いていなかった時期もありましたが、感染対策をした上で外部講師の方に授業をしていただいています。

5年生はユニクロの店長さんに来ていただきSDGsについて考えました。4年生は福井新聞徳島NIEコーディネーターに来ていただき各クラスで新聞の見方を教えていただきました。いつもの担任とは違う人に習うということは、子供たちにとってもわくわくする時間のようです。



校内の掲示板

学校の教室や廊下には掲示板があります。保護者の皆さんも、子供の頃自分の絵や習字が貼られていた思い出があると思います。小学生の作品は、一人一人の個性が出ていて見ていると引きつけられます。子供のみずみずしい感性は、彼らの心の中から湧き出てくるものなので、作品を作っているときの気分が表れている気がします。

子供たちが少しでも実感を持って物事を捉えられるように、先生たちが工夫して作成した資料も時々廊下で見かけます。右の写真は、6年教室近くにあった「もし木田地区に大仙古墳があったら」という模造紙の掲示です。

矢印が木田小と明倫中です。大仙古墳のスケール感が一目瞭然です。視覚的な情報は子供たちに入りやすいのです。



☆お知らせとお願い☆

○長期休業中は、学校の電話に「只今の時間は、業務時間外となっております……」の音声案内が流れる時間帯が、16:30～翌朝8:00となります。また、お盆の学校閉庁日(8/12～8/16)なども終日音声案内が流れますので、ご了承願います。

○スギ花粉症に関するアンケート調査にご協力願います。小学生の勉強や運動に支障が出て、一旦発症すると大人になっても治らないスギ花粉症を何とか予防できないかと、福井大学医学部が取り組んでいます。その研究の基礎データとしての協力依頼です。